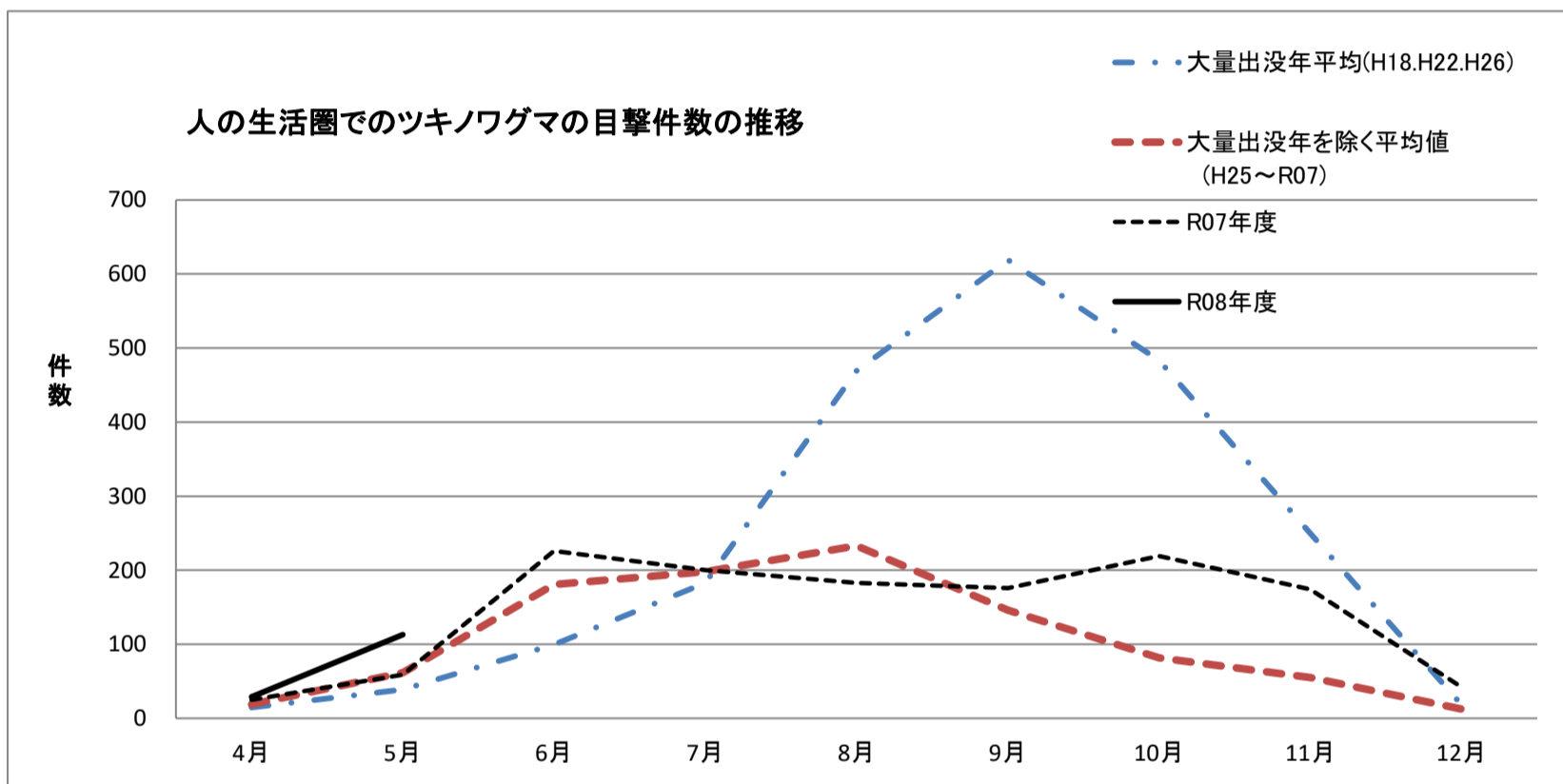


〔参考〕大量出沒年、大量出沒年以外の平均目撃件数との比較

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
大量出沒年平均 (H18. H22. H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を除 く平均値 (H25~R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8.7(9.6)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1,304	11(16)
R08年度	29	113								142	-



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。
- ・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。